

環境調査結果のお知らせ

令和7年6月9日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

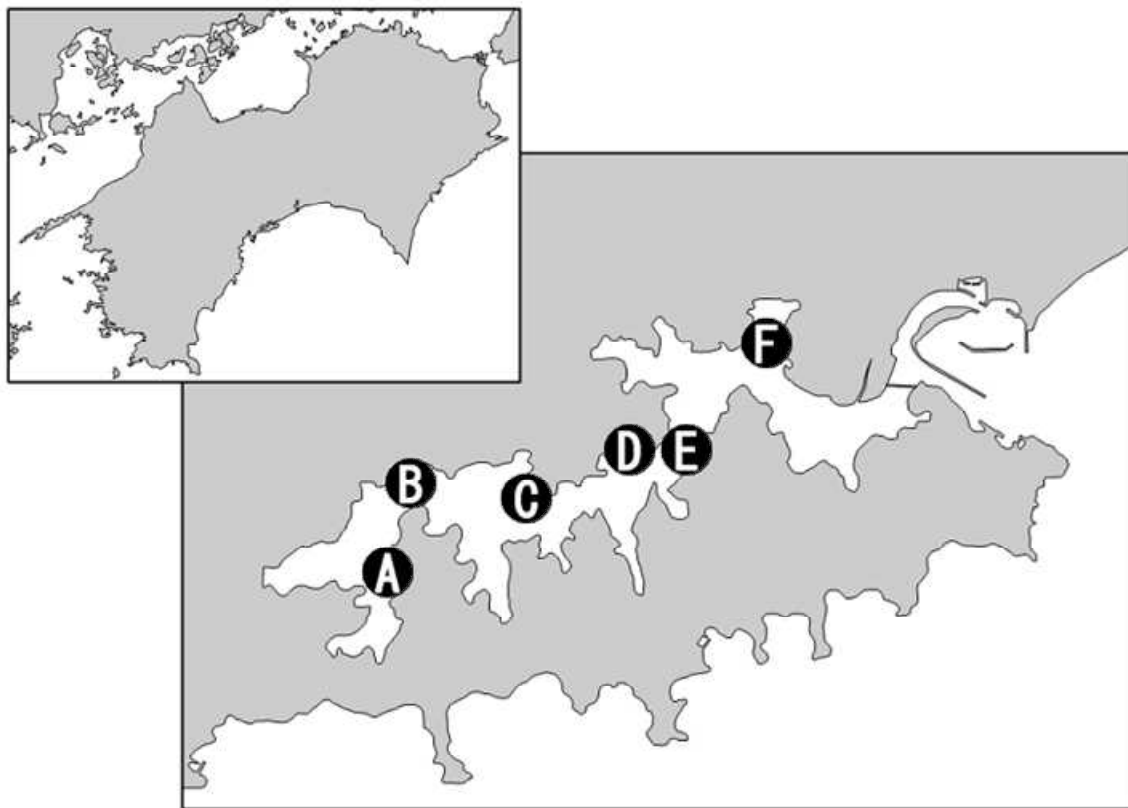
概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で20 cells/mL、シャットネラ属が最高で1 cell/mL、ディクチオカ属が最高で740 cells/mL、ケラチウム属が最高で1,420 cells/mL確認されました。ケラチウム属は100 cells/mL以上になると、養殖魚の餌食い悪化が懸念されます。

また、水試小割前を除くすべての調査点において底層が、鳴無では底層に加えて5 m層が、中学校前では底層に加えて10 m層がそれぞれ貧酸素状態になっていますので注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロシグマ・ アカシオ	シャットネラ 属	ディクチオカ 属	ケラチウム 属
	(m)	(℃)		(mg/L)				
A 鳴無 (3.2m) 【10:00】	0	23.5	28.4	9.2	0	0	39	46
	2	24.4	30.8	6.5	0	0	102	44
	5	22.9	31.3	2.4	0	0	740	15
	底層 7.5	22.5	31.5	0.6	0	0	5	8
B 中学校前 (2m) 【10:05】	0	23.9	28.8	8.3	0	1	21	25
	2	24.2	30.8	7.5	0	0	50	35
	5	22.6	31.1	5.1	0	0	240	3
	10	22.1	31.6	2.3	0	0	1	1
	底層 10.5	22.1	31.6	2.5	0	0	0	4
C 目ノクソ (3.5m) 【10:13】	0	23.9	28.9	8.6	0	0	0	8
	2	24.1	30.6	7.8	0	0	1	5
	5	22.5	31.1	6.2	0	0	0	6
	10	22.1	31.7	4.7	0	0	0	5
	底層 14.5	21.9	31.9	0.6	0	0	0	7
D 光松 (4.4m) 【10:24】	0	24.0	29.3	8.3	0	0	2	8
	2	23.7	30.5	8.0	0	0	2	5
	5	22.8	31.3	6.6	0	0	0	5
	10	22.5	31.8	5.6	0	0	0	12
	底層 15.5	21.5	32.2	0.2	0	0	0	2
E 大鹿 (4.1m) 【10:34】	0	23.7	29.5	8.2	20	0	0	16
	2	23.2	30.8	7.6	0	0	2	17
	5	22.7	31.3	6.5	0	0	0	3
	10	22.2	31.8	5.0	0	0	0	16
	底層 15.5	21.5	32.2	0.2	0	0	0	1
F 水試小割前 (4.5m) 【09:42】	0	23.5	29.8	8.8	0	0	0	1,420
	2	23.5	31.0	8.6	0	0	0	240
	5	23.2	31.7	7.4	0	0	0	26
	底層 8	23.3	32.0	7.2	0	0	0	64



A: 鳴無
B: 中学校前
C: 目ノクソ
D: 光松
E: 大鹿
F: 水試小割前

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Ceratium</i> spp. (ケラチウム属)	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—			
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。